夕刊
磐城新聞
五月二十九日發行
（日曜祭日翌日休刊）

兵營日誌（四）

平町　秋月俊一郎

十二月廿八日　點呼後の五分間体操なし。舍内掃除に關して瀧澤曹長殿の訓話あり。上官の命令に服從することの餘りに形式的なるを嘆ず、軍人の本質を向上せしむるには常に軍隊の綱領、規定等に據るのみならず、小學教育に俟つこと大なるを感じたり、教育勅語の御趣旨も亦玆に在るものなりと信ず。何故なれば軍人は國民の儀表でなければならぬから。午前八時二十分鼕備室に集合、昭和三年を送るに當り中隊殿の訓話あり。要は『一年の計は元旦にあり』過ぐる年を思ひ修養の道を勵め』の黑板の文字にて盡く。訓話終りて盡食を挾みて班長殿の軍隊內務書に關する學科あり。午後四時頃解散、夜七時十五分前戰友の靴下洗ひを命ぜらる。胸には悲憤の涙湧きたれども、完全に之を果して戰友に靴下を渡せる時の愉快さは言語に絶したる恰も宗教、主義に殉じたこる者の古來幾度か味到せる優越感に似たり。十字架上のキリストに果して人を怨む心ありしや否や。彼が胸に燃へたるは人類愛の焔、腦裡に刻みたるは萬人を憫憐視する卓越せる優越感ではなかつたらうか『偉人の居に、時として憂鬱な微笑みの浮び來るのは、凡人がその胸臆を解せざるが爲なり』とはアメリカの碩學エマーソンの言葉だ

一月六日　月曜日、朝食時預上等兵、白川候補生の精勤ぶりを讃ふ、餘の面前にて面當するかの如き感ありて淋しさ限りなし。午前九時より聯隊長の精神訓話あり、夕方淋しさ募りて涙さへ湧きたり。仇浪騷ぐ汚れ世に幾年か流轉の波に揉まれ、兵營に辿り來れば此處にも埋知らぬ人のため仇浪は立騷ぐなり。その失望とその不滿とに對する不滿は聽く淋しさとなつてゆくのであらう。苦難に堪へよ淋しさと戰へ、やがて來らん榮えある日に備へよ

一月七日　雪降る、九時半醫務室に至りて診斷を受く。午後特に軍醫殿の指示なき外受診の必要なしとのことなり。診斷終りて直ちに聯隊講堂にて分隊の襲撃、寒氣烈しく操作に苦痛を感じたれど遠く三高ラグビーライフを唱ひ勇氣百倍せり（朝食後慶應と戰ひて三對零にて敗れたりとの新聞記事を見る、神宮競技場に於て四〇對零にて敗れたる苦しき思ひ出に比し何たる快報ぞや、彼等又余の犧牲を無にせざりき）午後下士集會場にて學科軍隊教育令及び馬術教範。點呼後及川少尉殿の二年兵の教育方針に關する話あり。就中余の注意を喚起せしは東北人の陰鬱性より脫却し、陽氣以て事に當る可しとの訓識なりき。蓋しツーザ、ポイントの感あり。若者が文學的陰鬱乃至は興奮に捉はれ、常に人生のダークサイドを見詰め居るが如きは亡國的態度と云ふ可きだ。

本稿は今回も亦不足税を徵せられたり、甚だ迷惑に付爾後開封にて送られ度し。（係）

横町小町

助川十九

向ふ横町の
紺屋のお美津アー、
尻をふりふり
十九になつた

横町小町と
名にうたはれる
お美津アーなの花
こぼれ花

愛し愛しの
紺屋のお美津アー
なぜかこのごろ
そは〱と

盲目小路の
あの夜のあめに
たもと濡らした
こともある

啼かぬ雀は
うるそう御座る
濡れりや名がたつ
浮名たつ。

ぶゆ

高橋亘

新茶つむ
柔い芽

雲雀の聲も
柔かさうに

柔い茶の芽の
匂も流れてて

目先でぶゆも
こぐらかる。

社會の今日

5月30日

△大品經二峽八峪開板（正中二）△女傑ジヤンダーク火刑（一四三一）△北清事變起る（明治三三）△著作權法を改正す（昭和六）△政務官問題で政民兩派ゆづらず紛糾△聯盟調查團の滿洲調查終る△再擧のブラツン機墜落、壯圖挫折す△ドイツ、ブリユニング內閣總辭職（昭和七）

○

夏くれば瞼を俯せて花密柑、摘みて別れし山が眼に見ゆ　深澤十朗

石菖や水盤に澄む碼瑙石　一星

講談　劍火無情（26）

津屋義人作　菅野祐作畫

大平山に籠る（二）

大平山に立籠つた徒黨が栃木の町で押借りしたと判ると、野州宇都宮の城主、戸田越前守に於ては七萬七千八百五十石の領主として之れを打捨て置けない。梅鉢の定紋打つたる旗指し物、夜は同じ高張り提灯を立てゝ栃木界隈の警戒を始めた

『大平山の首魁は、水戸樣の御家老だそうな』

『道理で鼻へ懸る言葉つき水戸訛りに相違ない』

『あの若い大將は、水戸の學者で故人の藤田東湖先生の三男小四郎さんだといふ!』

『あの御家老の名は、田丸稻之右エ門と判つた』

斯うしたうはさが栃木の町に立つたので、宇都宮の警戒隊は猶之を確かめた上水戸家へ使者を派遣して、一應の交渉をした。水戸家は豫て知つてはゐたが他領へ走つて掠奪を働くとは思はれなかつた。

『篤と吟味の上、當方にて鎭撫致すでござらう』

水戸の重臣は斯う言つて使者を歸してのち軍勢催促てに及んだ

水戸家は中納言薨去の上、一藩を畏服さすべき東湖も亡、所謂奸黨と稱せらるゝ結城黨の市川三左工門、朝比奈彌太郎等が正義黨の田丸、藤田の旗揚げを幸ひ流中で幅を利かせてゐる時とて、それ見た事かと言はん許りの容貌で朝比奈は言つた

『何が正義黨だ、中納言樣御靈位とか、お木像とかを神輿に打乘せ、大平山に屯集する義擧は可いが他領の良民を虐けて何が正義だ。何が義擧だ。最早田丸や藤田は賊徒だ、暴徒となつたら當藩に關係はない。藩士にあらざる暴徒を當藩から鎭撫に參る要はない』

藩士等に放言して折角召集した兵を、直ぐ出さうとはしなかつた

市川三左工門はそれに反對して

『然し宇都宮の手前、打捨て置く事も相成るまい。國境を固め形式だけは出兵致さすば相なるまい』

こんな事で徒らに時日を經過した一方に、宇都宮の戸田勢は、水戸の出兵を使者が復命したので、手控へをして了つた

田丸勢は奇貨措くべしとした、其年の五月、水戸から引率して來た兵二百はいつの間にか增加し、各藩の脱走兵が參加して今は五百以上の優勢を示した

秋岡丹三郎と松子の男女は藝妓小萬と共に先づ結城の町に入らうとしたが水戸奸黨の守備兵が多數に屯してゐるので女を連れては入り難い、殊に松子は水戸藩士に多く顏を見知られてゐるし、又人馴れ世馴れてはゐるものゝ小萬も單身此物騷な地には入りたくない。

『秋岡の旦那、貴君方御夫婦が栃木へいらつしやるなら私も連れて行つて下さいまし、何れ藤田樣も田丸樣と御一緒と存じますから!』

夫婦も小萬を結城花本の女將お圓なる者に引渡さぬまでは獨り振捨てるも氣の毒と思つてゐるので丹三郎よりは松子が

『さうしませうよ、先へ藤田さんに會つてそれから花本へ行くやうにした方が宜うございませう、ねえ貴夫!』

丹三郎も大きく頷いた

『それが可い、何の結城の町とても身共一人で乘込めぬ事もないが、あらぬ嫌疑を受けて又水戸の兵を斬るやうな場合に立至らぬとも限らぬ、さすれば愈々小萬殿が花本とやらへ行く事が難儀となる、何れは遲かれ早かれ會ふべき藤田小四郎殿、先へ參つたとて差支へはあるまい』

斯う言つて三人同意道を變へて宇都宮へ出で、それから栃木町へ入らうとした

宇都宮にも亦戸田越前守の番兵が隈なく網を張つてゐた。武士體のものは勿論男女に限らず他國から入込む者を誰何する。宇都宮に滯在する者は疑はぬが、大平山方面又は栃木へ向ふ者は嚴しい調べをすると聞いて流石の丹三郎も少しく躊躇した。

戯曲　夜のカフエー（6）

古川哲夫

美代子　まあ。本當、本當だつたら今夜は金ん坊の好きなハンバクテーキをおごる事よ

金ん坊　でも、僕はつまらない

美代子　どうしてつまらないの

金ん坊（酒場の方へ行く）僕は全くつまらない

美代子　變んな子ね、金ん坊たら

（暫らくして酒場から來て美代子の前椅子に腰を下す）

金ん坊（獨言の樣に）人間は全く不可解だなあ戀をして結婚して子供が生れて一段落して寺院の奧津城に御世話に成つて全く考へれば考へる程不可解だ。

（風の音。金ん坊退場。美代子椅子に腰を下ろして新聞を見る。柱時計五時を打つ）夜に成る

桂子登場

桂子（美代子の前の椅子に腰を下ろして）秀夫樣の事を美代子さんどう思つて、美代子さんは秀夫樣を愛してゐるんぢやなくつて。それとも……

美代子　好きも嫌ひもないわ。或はきらひかも知れないわ。それに秀夫さんの事なんか考へる餘裕がないの

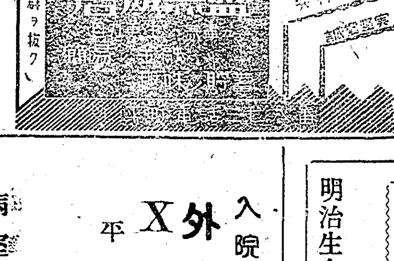
桂子　でも秀夫さまは本當に優しい方でいらつしやるわ。ねえ美代子さん貴女は秀夫樣をどう思つて

美代子　でもあの方は油斷が出來ないわ

桂子　どうして

美代子　理由はなくつてもあの人には好意が持てないのよ、私にはあの方は眞實味のある人とは思はれないのよ。なぜつて女に親切な人は何か心に野心を抱いてゐるの。その野心を實現しようと努力してゐるのよ一寸でも油斷したら大變よ。だから男の方と交際する時は心に隙を見せてはいけないの。常に心には固い鍵をかけておくことよ。其の鍵を取られない樣に四方に注意するのわかつて、桂子さんは深く秀夫さんを戀してゐる事。私にはよくわかるのよ。女は大馬鹿さんだから男の方に優しい言葉でも掛けられると本當に得意顔に成るんですもの、そしてその優しい口車に乘るのよ。斯端の口車と信じながら、しらず知らずの中に深みに沈んで行くのよでも私の云つた事惡意に解釋しないでね。桂ちやんに秀夫さんと別れろなんて水くさい事は言はないつもりですわ。

廣告



四倉町會議員候補者
小港平次郎君
君は常に愛町の至誠燃ゆるが如く大衆の味方たる町議の適材として推薦仕り候條何卒御同情を賜はらんことを懇願仕り候　敬具
昭和八年五月二十六日
四倉町新町六九　責任者　松本文太郎

推薦廣告
四倉町會議員候補者
青木公丸君
君は多年專心兒童教育に盡瘁昨年教育界を去り町事の向上發展に活動を續く將來君の手腕に期待するもの多い、玆に推薦致し候條何卒御同情、御援助の程懇願仕り候　敬具
昭和八年五月二十六日
四倉町本町原田一一　責任者　渡邊喜市

木炭代用この上のない
經濟の德用豆炭
壹袋正五貫目入　金八十錢也
御注文次第御屆ケ申シマス……。
南町　磐崎屋酒店（電話六六三番）
一丁目　菅本武夫商店（電話五九六番）
白銀町　水野氷店（電話二九九番）
六町目　矢吹石炭商店
平驛前　阿部石炭商店（電話三七番）
◎特約店募集致シマス。

耳鼻咽喉科專門　院長醫學士　鈴木正男
齒科口腔外科　日本齒科科長醫學士　鈴木喜政
下谷區入谷町二九一　入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

お醤油は……ヤマフル
鹽屋　山崎合名會社
福島縣平町　電話（營業部一〇番　本店二七番）
味噌醤油　たひら正宗　鰹節　食料品
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院（電話一二九）
病室完備

春の傑作流行歌
サーカスの唄
僕の青春
濡れつばめ
島の娘
淺草の歌
其他五月新譜澤山着荷致しました。
（御注文次第早速御屆致し升）
金光堂時計店
五丁目　電話一九五番

難波醫院
內科
小兒科
醫學博士　難波睦
平町新川端櫻堤
電五〇二
（…入院隨時…）
看護婦募集

外科全般　醫學博士　渡部義夫
內科小兒科　女醫　渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科
（入院應需）

名湯のお知らせ
神經痛、りウマチス。婦人病。其他此ノ名湯ニ一週間以上入浴スレバ全治スルト云フ其ノ効無二ノ礦泉デス、四倉驛ヨリ十町自動車ノ便アリマス。
宿泊料一泊壹圓……（三食付）
眺望ノヨイ
礦泉旅館　寅の湯
四倉町新町戸ノ内九

新製品發賣!!!
コーヒー通待望のコーヒー來る……!
ジヤバ
モツカ
グアテマラ
本場コーヒー三種配合挽立
……1/4封カン入三五錢
1/2封カン入七十錢
味覺滿點

香味本位の本場銘茶を召上りませ……
電三九六番
平五丁目
大勝園

吉田眼科病院
平町紺屋町

耳、鼻、咽喉科
氣管食道科專門
平町南町（電一〇七番）
大和田醫院
大和田郡司
（自炊の便あり）

月曜論壇

選擧後に望む

惡戰二旬、あすこそ愈々三十七名の平町議候補に對して最後の審判が下される日である、厭でも應でも超過七名が落選の苦杯に泣かねばならぬ日である、之の絶大なる受難に對して何人か一掬同情の涙無きを得るものぞ。併し乍ら靜かにおもひを回らせば當選者必ずしも聰明叡智で無く落選者中また凡庸ならざる幾多の人材を有する點に於て、當落の結果によつて直に其の人物の評價さるる所以で無い以上穿き違へた悲觀は此際大の禁物たるを失はない

〇

輙ち若し有りとせば黄白を以て投票を掻き集め、而して當選した醜惡なそれよりも淸節自ら持した爲脆くも一敗地に塗れた事はむしろ光榮ある落選である、而も町議たらずんば町政に竭せぬと云ふ理由の存在せぬ限り當面の落選に失望し不幸悲しんでやぶるが如き場合あらば其れこそ最も不忠實なる町民として終らざる無きやを保し難きものがある

〇

更に當選の榮擧を贏ち得た三十の新町議も亦徒らに自己の力を誇負する事無くその當選が偏に選擧民の同情支援に因る事を思ひ、只管向來に於ける任荷の重きを自覺し誠心誠意を以て町治に盡瘁し以て多數町民の期待に應幾からんとするの覺悟が肝要である、若し夫れ當選の方便上一時的の拜み倒しを敢てし爾來恰も之を忘れたるものの如く再び路傍の人たる以前に還るが如き不心得あらば唾棄すべき欺瞞的當選者として今後四年の在任期間中終始一貫之を糾彈せねばならない。

〇

戰ひは既に濟んだ。明三十日の投票を以て戰塵全く收まり、弓は長押に刀は鞘に再び以前の靜謐に歸して面目一新の溌溂たる町會が生るるであらう。此時に際して當選者に顧眄自ら雄とするの驕慢なく落選者亦徒に死兒の齡を算するの愚無からんばそこに朗かな大平町は見事に建設さるるであらう。

愈々清算の明日を前に 各候補者の神經は尖る

寢ても眠れぬ今夜一晩

愈々あすである、寄ると障るとそのはなし許り、全町民の神經はいま町會議員選擧に對して總動員されてゐる、而も大勢は既に決した、絶大なる悲哀を盛つた七個の苦杯は果して何人が受くる事になるか、當選確實の見込がついてる面々なればいざ知らず少くとも當落の分岐點にかゝる程の候補者に在つては恐らく今夜あたりは寢ても眠れぬであらう、町民最大の榮譽を贏ち得る爲に最大の犧牲を拂ふ事は蓋し當然であるとは謂へ最後の切迫と共に各候補者の焦躁不安振りは見るも傷ましい限りである、某々候補の如き目立つて頬のこけた窶れ加減は知る人をして暗然涙せしめてゐる、喜ばしき日、呪はしき日。その五月三十日は泣いても吼えても明日に迫つた。重苦しい空合に大なる秘密を藏しつつ今日も慘として暮れて行く。

有權者四千五十九名

昨二十八日現在調査

平町役場調査昨二十八日現在の町會議員選擧有權者は昨年十月調査の登錄者四千三百四十二名中死亡六十一、轉出百七十、行先不明三十、失格九、不在十一、誤載二計二百八十三名を差引き合計四千五十九名と判明した

小川も落選七名

一昨廿八日開票結果

定員二十四名に對し立候補三十一に達し非常な激戰を演じた上下小川組合村議改選は一昨二十八日開票の結果當選者左の如く決定した

上小川—四三國井勝丸(新)三六高木藤嗣(新)三四長谷川松良(新)同草野淺右エ門(新)同佐藤茂(再)二九草野正壽、二七當波梅吉(新)同草野金平(新)二四草野寅伊(再)二三大平盛之助(新)二二白井菊造(新)二一鈴木元丸(新) 次點—渡邊高次、草野吉次郎、井戸川茂

下小川—三九柴崎佐之吉(再)三三草野勇(新)三一松本喜八(新)同吉田金彌(新)三〇吉田長光(再)二八松本榮重(新)二七猪狩康三郎、二六荻野左右(新)同松本井彌(新)同佐藤忠次郎(再)二五吉田千代次(新)二二松本房之(再) 次點—吉田長次郎、鈴木宗次郎、荻野譽雄、佐藤忠才

神谷もあす選擧 一名の超過で

三分の二は新顔

愈々明三十日執行される神谷村議改選は定員十二名に對し一名の超過で候補者左の如し

大字鎌田鈴木庄之助(現)鈴木與右エ門(現)鈴木善壽(新)鹽佐藤長次(新)中野己之助(新)下神谷志賀龜作(新)佐藤新次郎(現)上片寄鈴木秀吉、吉田信雄(新)木村幸雄(現)榊原多顯、上神谷西山淸太郎(新)下片寄赤塚半五郎(新)

三千貫增收

郡下春蠶豫想

平地方春蠶は目下四眠起三四日目の盛食期に入つたが掃立當時冷期の爲め例年より五六日遲延し其後は天候順調と桑葉の豐富とで蠶兒の成育豫想外に良く來月初旬から上簇を開始し十三四日頃から市場に出廻るが平

蠶業取締所の觀測に依れば郡下の收繭は約十萬貫で斂量の少かつた割合に約三千貫の增收見込である、尚植田、勿來兩市場は來月十八日から開場する事となつた

尼子橋踏査

重要國

道として交通頻繁な尼子橋は最近次第に低下し重量物運搬に些か危險を生ずるに至つたので〻林土木監督所長は今二十九日實地踏査を行つた

木炭檢査平支所

當分町役場內で執務

來月一日から生産檢査の縣移管に決定した濱三郡木炭同業組合では三十一日午前十時から平各種團体事務所で事務引繼を行つて解散し新に設置された縣木炭檢査所平支所は當分事務所を平町役場內に置く事に內定したが支所長及檢査員左の如し

支所長—農林技手立花種久、檢査員—鈴木良七(原町)猪瀬末吉(平)杉山弘道(同)大和田嘉積(赤井)蛭田春次(川部)水野兵司(湯本)吉村信雄(同)佐藤震策(植田)廣瀬辰末(同)高田孝雄(廣野)折笠俊輔(富岡)奥村國治(浪江)今野廣二(中村)武內三好(津島)松本幹二(同)西牧巖(川內)植田末吉(同)山口榮(永戶)

尚從來緩漫であつた未檢査品に對しては保管を命じて嚴罰に處する方針であるから發見者は一般消費者と雖も速に屆出て欲しいと

木炭組合費滯納

解散を前に控へ

財産差押へ處分斷行

濱三郡木炭同業組合では目下組合費の未納が合計四千二百五十圓、延人員三千百五十人に達してゐるので檢査事務解散を前に江尻理事は各町村駐在檢査員を督勵して之が整理に大童となつて居るが極めて徴收成績が惡く結局財産差押へ處分を斷行する事に決し今二十九日滯納者に夫々通知を發した、尚組合の存廢に就てはあと二日に迫つた今日縣から何の通牒もないと

小名港築港 起重塔竣功

愈々塊函製作開始

小名濱築港工事に重要役割を演ずるレーンソン用機重機塔は此程漸く二ケ月の日子と四萬圓の工費を以て竣功し試驗運轉の結果成績極めて良好で愈々來月早々から之を使用して防波堤用塊函製作に着手する事となつたが之の塊函は高さ七米七、幅十一米、長十八米、重量一千二百噸の尨大なもので一個一萬圓の費用を要し之が爲め從來二百人內外しか使役してゐなかつた人夫を一躍五百人に增員する事になり目下鯛、鰹の漁繁期で恐して之だけの人夫が募集出來るかを危まれてゐる程で過般の不祥事件以來沈滯してゐた該工事は愈々活氣を呈するに至つた

高久村代表土木陳情

監督所を通じけふ縣へ

百二十萬圓の申請額に對し僅か二十七萬三千圓の割當であつた郡下各町村の今年度匡救事業の割當から洩れた田人村其他では之れが爲少からざる手違を生じ居るが高久村では工費一萬五千圓で六個所の道路改修を申請の結果內三個所工費四千九百圓を個所指定の上で割當られ他の三個所は年度內に改修されぬ事に決したので關係部落民は非常に失望し今二十九日鈴木代議士、鈴木村長其他關係者が平土木監督所を通じ縣に工事個所指定の解除又は工費增額方を陳情した

。。。。夏井村長再選。。。。

夏井村長改選は一昨二十七日執行したが滿場一致で前村長阿部淑藏氏の再選重任と決定した

マラソン負傷者 經過何れも良好

鈴木君を除き登校

一昨報—磐中マラソン隊出發の際背部に負傷した一年生淸水弘一(一五)及手足顏面に擦過傷を負つた二年生砂田誠(一六)同長谷川俊(一六)の三君は早速醫師の手當を受けたので經過非常に良く今廿九日より行はれた臨時試驗にも應じたが背部に重傷を負つた一年生鈴木義康君(一五)は目下新川町諸橋病院に入院治療中で之亦三、四日で退院出來ると

土木打合會

匡救事業遂行上遺漏無きを期す

七年度匡救事業は町村當局が請負工事の不馴れから各地に不正事件が頻發したので本年度は何れも萬全を期し植田、勿來、川部、山田上遠野、田人二町四ヶ村では一昨二十七日午前十時から勿來町役場に打合會を開き小林平土木監督所長の指示、注意後七月中一齊に着工十二月中全部竣功する豫定で設計を急ぎ男勞働者は六十錢、女四十錢に賃銀を協定し、町村駐在匡救土木委員を全廢する事に決定した、尚平町方面でも近く同樣打合會を開き遺漏無きを期する事となつた

よくも盗んだり 內鄉の手長小僧

明日平區で公判開廷

內鄉村大字高坂宮中平十七四家好夫(一八)が同村中平十三鈴木三郎(一六)何れも假名—と共謀の上去る十八日綴驛事務室より上野行二等乘車券一枚、夜森、龍田行三等乘車券二枚と現金十五錢の窃盜を働いた外左記の如き少年にも似合はぬ大それた窃盜を働いた住居侵入窃盜事件の公件は明三十日午前九時から平區に於て竹內判事係り、小林檢事關與で開廷される

△去月下旬平町七軒町上川恒平方より黑ズボン其他價格十六圓△今月初旬平町舊城跡鈴木勝治方より自轉車一臺價格十三圓△同平町大塚運動具店より自轉車一臺價格四十五圓△同旬湯本町門脇與太郎方より金側腕時計一個價格十圓外現金一圓七十錢在中の蟇口一個△同旬同町前島壽一方より腕時計一個價格七圓、外白米五升、飯櫃一個△同町高木武臣方より百三十圓記入の郵便通帳△同月中平町三丁目大黑屋洋品店より夏襯衣二着外五點價格八圓五十錢△去る一月末頃三丁目なかや洋服店より黑羅紗外套一着價格四圓六十錢△今月中旬同上黑色ヅボン二着價格七圓△同平町大町牧野文晟方より自轉車一臺價格二十圓△同四丁目鶴屋より自轉車一臺價格三十圓△昨年十一月頃內鄉村大字高坂早川國惠方より金側腕時計一個價格二十圓及反物價格二十圓

以上共謀以下鈴木三郎單獨にて

△去る一月三丁目なかやより羅紗モヂリ價格六圓三十錢△四月下旬平町八幡小路大場辰男方より金側腕時計、ガス銘仙、絣男袷一枚其他價格十五圓外現金十二圓△昨年六月中旬頃平町二丁目坂本貫三方より手提蓄音器價格八十圓△同年九月頃同町三丁目高倉萬年筆店より手提蓄音器價格五十圓、同年十月頃同店よりサンドボックス二個價格十圓△同年十一月頃內鄉村小島テル方より蓄音器價格十二圓

電話架設勸誘

去る廿日より取扱つて居る平局の今年度電話特別開通申請は昨廿八日迄に五口で來月五日の締切り迄に昨年同樣十三口位を目標に戶別訪問其他の方法で極力勸誘すると

學校荒しに六ケ月

けふ平區で判決

當時住所不定無職山形縣生齋藤政之助(三三)が去る五日磐中に於て黑革製靴一足(價格四圓)の外中第三、四倉、好間、神谷、久の濱、原の町の各小學校より金品を窃取した事件の公判は今廿八日午前九時から平區に於て關口判事係り、三堀檢事立會開廷、求刑通り懲役六ヶ月を言渡された

改修工事請負入札

十二萬圓分完了

七年度災害復舊工事勿來町九面地內國道、小名濱町辨別地內藤原川改修工事費合計一萬五千圓の請負入札は三十一日午前十時から平土木監督所で行ふが之で町村補助工事を合せて六十個所工費十二萬圓の同工事は全部入札を終り鮫川外九個所は既に竣功した部分もあり八月中には全部完成する豫定である

オールド對ヤング野球戰

平局員同志で爭覇

平局內オールド組(二十六歲以上)ヤング組(同以下)の對抗野球試合は昨廿八日午前十時から第一校に開き十四對十三でオールド組辛勝した

平商 選手 優勝

昨廿八日の端午の節句をトして催された入山炭鑛主催の劍道大會に平商では左記八名が出場若松引分、大高敗戰の外は何れも優勝草野忠悟君は勝拔試合に四等の好成績を占した

山田定、草野忠悟、郡司重雄、齊藤一夫、長谷川武士、山田正直、若松一郎、大高正己

。。。。平驛各部對抗。。。。

平驛各部對抗スポンヂ野球試合は來月四日午前十時から第一校で開く

娘猫を仰ぐ

原因失戀らし

平町紺屋町製本業マン長女白谷マサ(一九)は今曉二時猫いらずを嚥下苦悶中家人が發見大森醫師の手當を受け一命を取り止めた原因失戀らしい

磐女種痘

磐女校では今廿九日天然痘豫防の爲全校生徒及職員が種痘した

。。。。駒場中尉應召。。。。

平商配屬將校駒場謙氏は昨廿八日仙臺工兵第二大隊に現地戰術の爲召集され來月三日歸校の豫定である

。。鼠。。

去る十二日午前六時頃錦村大字長子字仲ノ町三一小野遠司方の不在を見澄し白米三斗、味噌二百匁の外二件の窃盜を働いた當時住所不定無職小堤增太郎(三三)は今廿日拘留近く中島裁判長係り、小林檢事關與のもとに公判開廷

電話買受タシ

五丁目 小野吳服店

平町慶弔錄

△出生 れ宜町八東京市え原區戶越町九二八芳習德次郎五男重剛 手摑町一四夏井村下大越根廻七七佐藤捨次郎長女智加子 久保町二三茨城縣結城郡西豐田村刈橋二〇諏訪喜一四女智子

△婚姻 田村郡中鄉村過足元內一〇八宗塚春一(三七)長橋町一七今宮力ヨ(二七) 千葉縣長生郡水上村大津倉八五五廳間金光(三四)紺屋町一〇鈴木セツ(二六)

▲死亡 堤之內一七東京市目黑町上目黑八丁目四五二小松成志(四)

舊五月七日 火曜 丙申 大安 平 翼宿 新五月三十日

諸判定廳宿 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 次第に順調に進む日なれど金談緣談等は凶▲二黑の人 何事も面白く順よく運び行く日常業尤も吉▲三碧の人 內を謹ふれば外は效果揚るべし失物は注意▲四綠の人 過分の望みを起さず常業を勵めば利益あり▲五黃の人 小資を以て巨利を得る日移轉動土等可なり▲六白の人 橫道に走りて失敗し易し萬事手控安全の日▲七赤の人 機運可ならず進むも退くも不自由を感ずる▲八白の人 榮達する日氣心の緩まぬ樣一致して勵めよ▲九紫の人 事業の根ていに動搖の來る日愼重熟慮すべし

磐城 共濟病院案內
院長 醫學博士 石山謙郎 (自宅)電話一二四番
內科 醫學博士 石山謙郎
小兒科 醫局員 佐久間粹
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂重次
皮膚徽科 醫學士 有馬勇一郎
產婦人科 醫學士 五十嵐雄二 醫局員 佐久間粹
X光線科 醫學博士 石山謙郎 技師 工藤慶造
衛生試驗所 醫學博士 石川謙郎 技師 高後利雄
藥局 藥劑士 吉本孝平
△診療時刻 午前八時より午後五時迄 但急患は此の限りに非ず
平町 磐城共濟會 電話六四一番

初夏向 カーテンとテーブル掛 すがすがしい氣分の新らしい製品が續々新入荷しました
座布團カバー 白無地 十枚 二、二〇 柄入 十枚 三、〇〇 上生地製品で大きさも仕立も充分吟味して御座います
パンヤお枕
布團袋 便利な文化長持 純良質入 一、二〇 三枚入二、三〇 五枚入二、五〇
麥帽 冴えた一文字！ 特價 五十錢 七十錢
中野洋品店 平 二・電五三番

生徒募集
磐城女子洋裁專門學院
入學 毎月初日
(此の際入學者は隨時入學を許可す)
ミシン無料貸與(材料貸與の方法あり)
奧樣方の爲め特に隨意科が設けられてあります。
毎日定期に通學の出來ない方々の爲の回數券制度……
平町白銀町十五番地 (詳細…學則郵券二錢)

耳鼻咽喉科專門
入院隨意 病室完備
平町田町七〇番地
山內醫院 醫學士 山內亭吉 電話六九一番